

奈良県産業振興総合センター

『産業技術研究部』 の技術支援施策の紹介

〈内容〉

1. 産業技術研究部の概要
2. 技術支援施策
 - ①技術相談
 - ②依頼試験・設備利用
 - ③人材育成事業、技術普及促進
3. 研究開発
 - ①中期研究開発方針
 - ②共同・受託研究



奈良県産業振興総合センター

<https://www.pref.nara.jp/1751.htm>
E-mail: sangyosinko@office.pref.nara.lg.jp
電話：0742-33-0863 Fax：0742-34-6705

産業技術研究部の概要

■ 業務内容

県内企業への「ものづくり技術」支援

■ 支援体制 (4研究グループ+2室)

機械・電気・材料G

- 機械加工
寸法・形状
振動
- EMC
電磁遮へい
- 化学合成
- 機能性薄膜

繊維・毛皮革・高分子G

- 繊維製品の快適性評価、
風合い特性、物性試験
- 皮革素材・加工、物性
試験
- プラスチック・ゴムの
成分分析、化学試験、
物性試験、成形加工

バイオ・食品G

- 酒類醸造、醤油・酢
製造技術
- 食品/果実加工、酵素
利用等
- 食品分析
栄養成分、金属成分、
有機酸

IoT推進G

- IoT技術
サーバ設計
データ利活用
組み込みシステム
- AI技術
画像処理
- 3Dデータ解析

研究支援室

技術相談窓口、広報誌の発行、知的財産管理など

計量検定室

計量器(はかり、メーター)の検定、定期・立入検査など

■ 支援内容

技術相談、研究開発、依頼試験、設備利用、
人材育成、技術普及・交流など

技術支援施策(1/2)

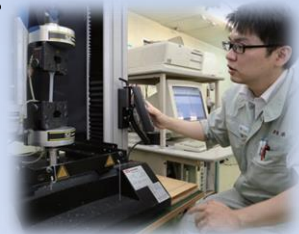
■ 技術相談

新製品開発、評価・分析、品質管理、
生産性向上など（無料） [R3年度：3941件]



■ 依頼試験

製品や材料について分析や試験を行い、
報告書を発行（有料） [R3年度：629件]



■ 設備開放

企業の技術者等へ当センター所有の設備機器
を開放（有料） [R3年度：1038件]

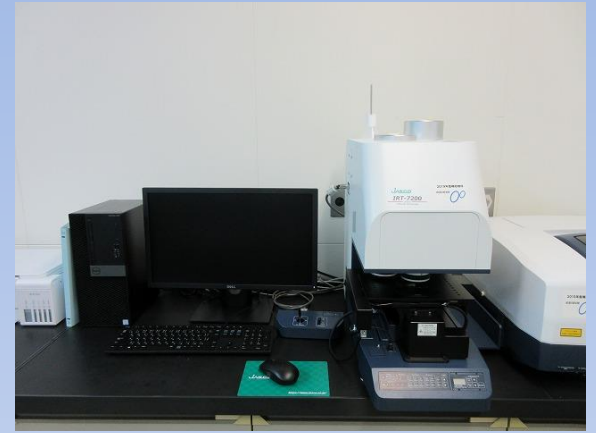
設備開放の一例



電子顕微鏡



EMC試験機器



紫外可視近赤外線分光光度計



味覚センサー



強度試験機



非接触三次元計測システム

ご利用いただける設備機器と利用料金は、WEBサイトでご確認ください。
<https://www.pref.nara.jp/28572.htm>

技術支援施策(2/2)

■人材育成事業（研究者養成研修事業）

企業の技術者が、当センター研究員のもとで研修を受け、専門技術や知識を習得

参考：R4年度募集テーマ

「5軸加工機による切削加工技術」「繊維製品の風合い評価」

「食品の分析技術」「社内ネットワーク構築」

■技術普及促進

当センターの研究成果を普及するための発表会や、専門家招聘によるセミナー実施

参考：R4年度開催テーマ

「AI, IoT関連」「新規導入設備」「知的財産活用」など

研究開発

■ 中期研究開発方針（R3～R5年度）

☆ ミッション型研究開発（県主導型：2テーマ）

「ITを活用したものづくりの自動化・省力化」

「地域資源を活用した健康維持・増進食品」

☆ サポート型研究開発（企業ニーズ対応型：4テーマ）

「機能性材料」 「環境材料」 「加工技術」 「生活関連分野」

■ 共同・受託研究

☆ 企業と当センターが共同で実施する共同研究、

企業の依頼で当センターが実施する受託研究

☆ 研究の具体的内容は研究員と調整の上、

契約締結により実施。 **（有料）**

[R4年度：共同研究19件・受託研究1件]